



## 誇れるふなぼーとに

船橋市医師会 副会長 鳥海 正明

船橋市の在宅医療に係る委員会等をお手伝いさせて頂き、色々勉強させて頂いております。私は現在、内科の町医者として仕事をしており、在宅医療は行なっておりません。勤務医時代にお手伝いをさせて頂いた程度です。自分が関わるからには良いものにしたいという思いと、昔から“実力がなくせに負けず嫌い”という事もあり船橋市の在宅医療、ふなぼーとの機能を最高のものにしたいと願っております。

以前、この懸け橋の巻頭で、良い医療とは？と問い、第一に人、第二に施設、第三以下はどうでも良い位のことを述べた記憶があります。在宅医療に於いても、在宅医療に関わる医療従事者の能力、人格が何より大切である事が言いたく、医療設備はそれに準ずるから成り立つ事業だと言いたかったのです。しかし、在宅医療の質や能力が、車に載る、靴に入る位の設備で縛られた時、本当に質の高い医療の提供ができ得るのか？そもそも在宅医療に医療の質を求める考え方に問題があるのか？そんな事を悩んでいました。その悩ましい部分をカバーするのが医療連携であり、組織力であるとの思いで医師会からの参加というか立場に関わらせて頂いております。しかし、事例の検討をしていく中で、当初から抱く不安は拭い切れませんでした。

そんな中のことです。昨年のゴールデンウィークは連休が長く、医療資源の供給力がとても低くなった時期でした。その初めに、私の義父（鬼嫁の父、とても怖く、私は嫌われている）が家の風呂で動けなくなりました。救急搬送されましたが、本人が入院を希望せず家に帰されました。複数科にまたがる、いくつもの問題がありました。老夫婦で暮らしており、私も鬼嫁も自分達の仕事との狭間で悩ましくダバタしておりました。自分の無力を痛感しつつ、在宅医療を推進している土居先生に電話をしました。ゴールデンウィークの真最中に、『できるだけ事をしましょう。心配しないで下さい』と直ぐに自宅に来てくださいました。ショートステイに入所、患者の妻（鬼嫁の母）へのフォロー、救急病院に連れて行って下さり、改めて精査、在宅医療への移行の援助・・・と至れり尽せり本当に感謝の思いでいっぱいです。医療連携の力と在宅医療とその周辺を司る医療の心意気を見せつけられました。船橋で在宅医療に関わる仲間達は懇親の場でもいつも携帯での呼び出しに備え、宴会の最中にも申し訳なさそうに中座し仕事に向かっています。この誇らしい仲間達の実践する在宅医療のシステム、組織力を尚一層強力なものに出来る様、様々な職種、行政とも協力し合い、病院との連携も強化しふなぼーとのコーディネイトする在宅医療を日本一のシステムにすべく、微力ながら今後も関わらせて頂きたいと思っております。

ふなぼーとへの連絡は、活動そのものに対する問い合わせから、悩ましい多科にまたがる複数疾病をお持ちの通院困難者からの相談、医療に対する不満・不安と本当に多岐に渡ります。ふなぼーとスタッフは実際に直接的治療、看護に当たらず、難しいコーディネイトの仕事等をしております。患者様、御家族のおかれている状況から始まり、悩みの本質への歩み寄り、そこから医療サービスの生き字引の様な最良のサービスの提案、提供をうける手助けもしています。会議の中には私の知らないサービスやシステムが沢山出て来ます。患者様や御家族が知るはずがありません。受けている治療に対する評価、今後の治療に対する提案、言いにくい事を主治医に伝える…そんな事もしています。ふなぼーとでは、経験豊富な2名の凄腕看護師とスペシャリスト シャルワーカーが中心となって力を合わせて頑張っております。優れモノなだけに、本当は、『直接私がやりたい!!』という悔しい思いをしているだろうと察します。皆が自分の置かれた立場、設備で出来る最大を行うことが、その設備を大きくする、その持っている靴を何でも入る無限の靴にする…そう言いきかせているのだろうと思っております。

大きな病院の専門医という立場から開業医になられた先生方はきっと判ってくれると思っております。皆のその思いが繋がる時、医療連携は大きく進み、寺田会長の仰る『船橋市医師会は一つの医局、船橋市の医療は一つの病院』というあるべき姿に近づくのだと思っております。私達開業医は一つの診察室、総合診療科は玄関近く、ふなぼーとは外来各課のド真ん中という感じの病院です。

皆様の御協力で、在宅医療従事者の靴が、大きな魔法の靴になる事を祈っております。世界が悩ましい感染症と闘う中、船橋市の在宅医療にも色々な影響が生じていると聞いております。今こそ船橋の医療者の底力を見せる時です。ふなぼーとも頑張ります。皆様、宜しく御指導、御協力を御願い致します。



# 船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと 総括者だより

## ポジティブシンキングを身につける

日頃よりふなぽーとの事業にご協力ご支援ありがとうございます

今年の春は気もそぞろで、桜もいつの間にか散ってしまい、咲くのを楽しみにしていた庭の木蓮も気がついたら葉ばかりになっていました。

市民公開講座の中止から約2か月、数か月で日常が非日常になってしまいました。

今までに経験したことのないような状況が発生しています。

一人ひとりが出来ることとして、今は事態が収束することを一番に、必要以上に外出せず人とあまり接することなくお家で過ごしていると思います。

行動に制限があって、私も高齢の親のこと等、気がかりもたくさんありますが、見方を変えれば休日などは、普段できないようなことにチャレンジする時間も増え、こんな事も出来た・・・と新しい発見もある、などと感じています。

ポジティブシンキングとは、「見方を変えて物事を前向きに捉えること」そうすれば毎日が楽しく「自己の成長」になるそうです。

この状況をみんなで乗り切るよう、普段の考え方の姿勢を見直してポジティブを意識付け、今やらなければならないこと、今だから出来ることを精一杯取り組もうと思います。

\*在宅医療支援拠点ふなぽーとの相談窓口は現在も通常通りの運営ですが、現在はお電話やメールでの相談を推奨しています。

ふなぽーとホームページのトップ画面右上のお問い合わせからメール相談に入ることが出来ます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

船橋市在宅医療支援拠点ふなぽーと 総括者 佐々木 ゆかり

### 船橋市在宅医療支援拠点

### ふなぽーとってどんなところ？

在宅医療支援拠点ふなぽーとでは、在宅で療養したい患者さんやそのご家族の相談に応じます。また、在宅医療関係者や介護関係者に対しても、情報提供や相談などの支援を行うとともに、船橋在宅医療ひまわりネットワークと連携し、医療・介護連携を進める取り組みを行います。その他、市民公開講座や在宅医療のはなし（講話）も行っております。市民のみなさまに在宅医療がどんなものかを知っていただき、必要な在宅医療やサービスが受けられるよう、周知活動も行っています。

看護師・社会福祉士の資格をもった相談員が対応します。在宅や病院、施設での経験がある相談員が在籍しておりますので、困ったことやわからない事、是非ご相談ください！



一般社団法人船橋市医師会受託事業  
船橋市在宅医療支援拠点  
ふなぽーと

〒273-8506 船橋市北本町1-16-55

船橋市保健福祉センター1階

電話:047-409-1736

FAX:047-409-1912


Mail: [info@funabashi-zaitaku.com](mailto:info@funabashi-zaitaku.com)

HP: <http://www.funaport.com/>

運営時間 平日午前9時～午後5時

(土日祝休)

★お気軽にお問い合わせください。

 船橋市在宅医療支援拠点  
ふなぽーと